

大分教育事務所訪問②-31 (計104)

## 津久見市立千怒小学校に学ぶ2

### 学校経営から学ぶ

本校の素晴らしい点は、6月21日の第1回訪問において確認したことを明文化して、確実に実行していることです。そのため、取組指標にかかる(教職員等の)取組の測定・検証に加え、(子どもの)達成指標の測定・検証を、部会を中心に細かく分析をしていました。さらに、今後の取組については、それぞれの部会のボトムアップによる企画が行われており、成長する組織へとなっています。

今度は、指標の育成を目指す(教科横断的な)資質・能力の「課題解決能力」について、全職員で協議をすることを通して、より具体的な目標としてみてはいかがでしょうか。「課題解決能力」の共通理解がすすめば、具体的な取組は担当者や児童会にも任せることができ、それぞれ

の当事者意識が高まると思われました。また、各部会が行う重点的取組の協働が推進されカリキュラム・マネジメントも行われることで、教職員の負担軽減にもつながると思われました。

### 授業から学ぶ

2年体育では、メリハリのある指示で子ども達が全力で動いていました。くすのき学級は先生は子どもの言葉を否定をしないので、たくさん発言できていました。5年理科や4年算数、1年算数は課題に対して、多くの子どもの前向きな考え(つぶやき)が印象的でした。3年算数は説明をする際、線分図の良さを子どもが実感していました。6年国語は子ども達の想像力や表現力のレベルの高さは素晴らしいと思われました。自分を出せる安心な空間だからでしょう。

今後は、指導案の「めあて」については、本時で目指す「活動のゴールの姿」や「ゴールとそれまでの道筋」となることを確認したり、「振り返り」は教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」で具体的に表したり、複数書いたりしてはいかがでしょうか。そして、互見授業等で教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いや、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議することで、授業改善がより推進されると思われました。



NO.469 2021年11月 津久見市立千怒小学校

## 指先まで集中

真っ直ぐに腕を伸ばし、指先まで集中している姿は自信の表れだね。



NO.470 2021年11月 津久見市立千怒小学校

## 自分と対話

自分が書いたことを、何度も書き直すことで、自分の思いを素直に表現できるようになる。



NO.471 2021年11月 津久見市立千怒小学校

## ふりかえる

解けない問題は、わかるところまで戻ると課題が見つかる。見通しが持てる。自分でできる。



NO.468 2021年11月 津久見市立千怒小学校

## 全力で

全力で走る。全力で逃げる。全力でやるから楽しめる。そして、大きく成長する。